

2023年3月23日

各位

インターナルカーボンプライシング制度の導入について

当社（社長 納 武士）は、自社基準で二酸化炭素（CO₂）に価格を設定してその排出量を費用換算し設備、開発投資判断の参考とする、「インターナルカーボンプライシング制度（ICP制度）」の導入を決定いたしましたのでお知らせいたします。

当社グループは、2022年3月に中長期のCO₂削減目標として以下を設定し、目標達成に向け様々な取組みを進めております。

2030年度：CO₂排出量をグローバルで38%（2013年度比）削減する

- ・対象は、Scope1^{*}およびScope2^{*}
- ・Scope3^{*}は現在実態把握を進めており、今後目標設定を検討する

2050年度：カーボンニュートラル（Net排出ゼロ）を目指す

※いずれも当社製造工程におけるエネルギー起因にて排出されるCO₂を対象とする。

この度、これまでの取組みをさらに加速させるため、以下のICP制度の導入を決定いたしました。

なお、社内炭素価格はCO₂排出量削減策の抽出、TCFDシナリオ分析に基づく戦略検討、気候変動に係る外部環境等を総合的に勘案のうえ決定いたしました。

【三井金属グループのICP制度の概要】

社内炭素価格	Scope1： 30,000 円/t-CO ₂ Scope2： 20,000 円/t-CO ₂ ※削減が困難な Scope1 の対策を一層促進するため、Scope1 を Scope2 より高い炭素価格とする
対象	CO ₂ 排出の増減を伴う設備投資、開発投資
適用方法	対象となる設備投資・開発投資計画によるCO ₂ 排出量に対して社内炭素価格を適用し、費用換算したものを投資判断の参考とする
導入開始日	2023年4月1日

今後、ICP制度を活用した「全社 2050 年カーボンニュートラルへ向けたロードマップ」の運用を通じ、社内の更なる意識の向上を図り、低炭素投資や気候変動対策を推進してまいります。

当社は、パーパスである「探索精神と多様な技術の融合で、地球を笑顔にする。」を基軸に、2030年のありたい姿である全社ビジョン「マテリアルの知恵で“未来”に貢献する、事業創発カンパニー。」を実現することで、サステナブル（持続可能）な社会作りに貢献します。

以 上

【お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5437-8028 E-mail PR@mitsui-kinzoku.com

【用語説明】

※Scope1, Scope2, Scope3 について、

Scope1 : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

Scope2 : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3 : Scope1、Scope2 以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

引用_環境省グリーン・バリューチェーンプラットフォーム

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/supply_chain.html